

ホタル特集

来年も再来年もその先も



ず〜っと見たい あぐいのホタル

東部小学校

6月19日
ホタル鑑賞会

ふれあいの森

6月22日~23日
ほたる観察会



「すごくきれい」。ホタルの美しさに感動する声が養殖場のあちこちで聞こえました。訪れた皆さんはホタル専門員による説明に耳を傾けながら施設内を飛び交うホタルを夢中になって観察していました。

毎年ほたる観察会に参加している方に話を聞くと、「今年は例年よりもホタルがとても元気に飛んでいた」とのこと。「来年も来たい」と笑顔を見せました。



今年もたくさんの子どもや保護者が訪れました。子どもたちは自分たちが育てたホタルが美しく光る様子に感動していました。「ホタルと出会う部屋」では産卵箱に入った成虫をじっくり見て、ホタルの生態について学びました。

この幼虫が
ホタルに
なるんだ
ね



初夏の訪れを告げるかのように淡い光を放ちながら飛び交うホタル。今年も町内各所で目にすることができました。

阿久比町では昭和58年から「ホタル飛ぶかう住みよい環境づくり」を目指し、町内に生息しているヘイケボタルの発生状況や生態などの調査研究を行っています。今年もヘイケボタルの生息分布調査を多くの皆さんの協力を得て行いました。

6月上旬から下旬にかけてはホタルに関連する多くのイベントが行われました。ふれあいの森「ほたる観察会」、白沢ホタルの里「ヘイケボタル鑑賞会」、東部小学校「ホタル鑑賞会」など、訪れた人々はホタルを通じて、いま一度自然や命の大切さを考えることができたのではないのでしょうか。

また、ふれあいの森体育室では「ほたるポスター作品展」を開催しました。小中学校の児童・生徒から、ホタル保護を啓発するポスターを募集し、優秀作品146点を展示しました。(4~5ページに最優秀作品1点と優秀作品10点を紹介)

人々の心を癒すホタルの光を絶やさないためには、普段からの行動が大切です。ゴミを拾う、ポイ捨てをしない、川を汚さないなど、一つ一つは小さなことですが、続けていけばホタルや自然環境を守ることにつながります。

これからも、保護活動に取り組み、幻想的なホタルの光を後世に残すことが私たちの使命だと思います。

白沢ホタルの里

6月8日~30日
ヘイケボタル鑑賞会

今年は例年よりも生育状況が良く、訪れた皆さんは辺りを飛び交うたくさんのホタルにしばし時を忘れ、見とれていました。会場内の竹灯籠もとても幻想的でした。

